

# オーデコートGエコつや有り(N)

## ■特長

- 揮発性有機化合物量(VOC)が非常に少なく、室内環境に配慮した水性塗料です。
- ホルムアルデヒド・トルエン・キシレンなど、各省庁での規制指針に該当する有機化合物を配合しておりません。
- 水性つや有り塗料特有の仕上がり後の粘着感が気になりません。
- 藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- 防火材料認定を取得しています。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

## ■用途

一般住宅、学校、幼稚園、託児所、介護施設、病院、ホテル、オフィス、レストラン、食品工場などの建物内部のコンクリート・モルタル・ボード類や鉄部、木部など

## ■基本性能

JIS K 5660、つや有合成樹脂エマルジョンペイントの規格相当。

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
低温安定性(-5℃)	変質してはならない	合格
塗装作業性	支障がない	合格
乾燥時間 h	標準状態 2以下	合格
	5℃ 4以下	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
隠ぺい率% (白および淡彩)	95以上	合格
鏡面光沢度(60度)	70以上	80
耐水性	異常がない	合格
耐アルカリ性	異常がない	合格
耐洗浄性	洗浄に耐える	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐える	合格
促進耐候性	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない	合格
屋外暴露耐候性	白亜化の等級は2.1又は0で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて差がないものとする	合格

## ■塗料性状

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法
オーデコートGエコ	各色	つや有り	15kg 4kg	水道水	0~10	0.13~0.15	はけ、ウールローラー エアレススプレー

## 標準塗装仕様

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	被塗面のごみ、ほこり、劣化塗膜を除き、清浄な下地とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト:0~10 透明:無希釈	はけ、ウールローラー
			0.12~0.16				エアレススプレー
上塗り	オーデコートGエコつや有り(N)	2	0.13~0.15 <sup>注)</sup>	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

## 鉄部

(注) 溶剤系さび止めを使用する場合より、入念な下地処理を行ってください。下地処理が不十分な場合や薄膜で塗装すると早期にさびが発生することがあります。

下地調整	被塗面のごみ、ほこり、劣化塗膜を除き、清浄な下地とする。						
下塗り	水性ハイボンプライマー <sup>(注)</sup>	1	0.13~0.16 <sup>注)</sup>	4時間以上 7日以内	水道水	0~5	はけ、ウールローラー
上塗り	オーデコートGエコつや有り(N)	2	0.13~0.15 <sup>注)</sup>	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(編み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。  
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されており、特別な環境が想定される施工現場、部位に塗装される場合は、事前に必ず当社までご相談いただきますようお願いいたします。  
注)「オーデコートGエコ」の塗付量は、0.12kg/m<sup>2</sup>/回です。  
・「水性カチオンシーラー」の塗付量は、0.09kg/m<sup>2</sup>/回です。  
・「水性ハイボンプライマー」の塗付量は、0.11kg/m<sup>2</sup>/回です。  
・使用量:被塗面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量  
・塗付量:被塗面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

## コンクリート・モルタル用下塗り塗料

水性カチオンシーラー透明、水性カチオンシーラーホワイト、水性透明シーラー、水性ホワイトシーラー、水性シミ止めシーラーII

## 鉄部用下塗り塗料(さび止め)

水性ハイボンプライマー、ハイボンファインプライマーII、1液ハイボンファインデクロ、(使用するさび止め塗料の肌の違いにより、上塗り塗装後のエスパワンエース (外觀・光沢感に若干の差異が生じる場合があります。)

## 木部下塗り塗料


水性ウッドベースII、1液ファインウレタンU100木部下塗り

## 施工上の注意事項 ●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料の水溶性分が表面に溶出し、粘着物などとなつて析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けて、溶剤系塗料での塗装をおすすめします。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が彫れていることがあります。そのまま塗装すると彫れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の彫れ、はく離が発生することがありますので、最新の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 過剰希釈をするとき、本製品のつやが現れないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- 防藻・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、彫れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗面に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いしてください。作業効率の低下および塗むらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- JIS K 5663 3種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- 腐蝕性、耐火被覆用、酸カシウム板、ロックウールなどの非常にせまい弱な素材には塗装できません。
- 水点下貯蔵するときは、凍らぬように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した腐食は、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着腐食をおさえおそれがあります。
- 風化面・吸込みの多い下地では、ニッパ液浸透シーラー(新)、ニッパ液浸透シーラー、ニッパ液浸透シーラー、ニッパ液浸透シーラーを使用してください。
- シーリングの上、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あぶらは十分に拭き取りますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面を十分乾燥させてから塗装してください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗装面の養生を行ってください。
- 塩化ビニルクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせするなどあらかじめ補修してください。またクロスのはがれが低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がることがありますので、クロスのはがれはあらかじめ接着剤などで押さえておくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製Hi5000シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で測定してください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において薬穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッパ1材カチオンプライマー、ニッパプライマー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョン/テの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、FRP板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッパ液浸透シーラー(新)、ニッパ液浸透シーラー、ニッパ液浸透シーラーをお使いください。
- 塗装後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッパプライマーを塗料の下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などに依りはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 窓木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、彫れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 清めずきは磨き力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに付いたエロ、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に付いた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で磨いて出ない場合があるため、事前に試験施工し塗板の色をご確認ください。
- 色調には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や汚れた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコフレッシクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 濃彩色を塗装する際は、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認の上、ご使用ください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラーは同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目より、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化することがありますので、ローラー塗りはできる限り入り間まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく離しないでください。
- 内容物/容器を固/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前ににご相談ください。

## 安全衛生上の注意事項 <オーデコートGエコつや有り(N) 白>

## 横倒 禁止

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本来の用途以外に使用しないでください。</li> <li>2. 粉じん/塵/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。</li> <li>3. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。</li> <li>4. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。</li> <li>5. 必要な時は、環境への放出を避けてください。</li> <li>6. 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けてください。</li> <li>7. 口をすずいでください。</li> <li>8. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。</li> <li>9. 吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡してください。</li> <li>10. 吸入した場合、空気中の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>11. 施設にて保管してください。</li> <li>12. 直射日光や水濡れは厳禁です。</li> <li>13. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとさせていただきます。</li> <li>14. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく離しないでください。</li> <li>15. 内容物/容器を固/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。</li> </ol>
<p>危険</p>  <p>危険 有害性情報</p>	<p>長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 水生生物に有害</p>

# 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180  
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
中部支店 ☎052-461-1960

●このカタログは再生紙を使用しています。

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索 <http://www.nipponpaint.co.jp/bz1/building.html>

カタログ

NP-Z133

SS220105T  
2022年1月現在